



フナヤウフトゥマ

フィンランドは、ミツバチが蜜を集める最北の地。フィンランドの豊かな自然が育む花々の蜜によって、特徴的なフィンランド・ハニーが生まれます。

社名のフナヤウフトゥマの「フナヤ」とは、フィンランド語ではちみつの意。

「ウフトゥマ」は直訳すると連合会社の意ですが、契約生産者との共働によって成り立っている会社という意味合いで使っています。

フナヤウフトゥマは1969年、養蜂家たちのグループにより設立されました。設立の大きな目的は二つ。一つはハチミツの販売を効率化すること。もう一つは、養蜂に必要な道具類を幅広いレンジで販売することでした。創立当初の本拠地はトイヤラでしたが、1973年に現在の所在地であるロイマー市コヨンクルマに移転。フィンランド南西部は国内でも養蜂が最も盛んな地域であり、現在のフナヤウフトゥマはより多くの養蜂家たちに寄り添ったロケーションにあると言えます。遠隔地の養蜂家顧客へも、メールオーダーサービスを通じてハチミツの集荷、ミツバチたちの冬期の餌となる糖液配給デリバリーなどの注文に対応しています。

花はちみつ 200 g



スタンダード商品としてロングセラー、かつ人気ナンバーワンを誇るのが、フィンランドの伝統的な多種花はちみつ。ラズベリーやクローバー、その他様々な種類の夏らしい花蜜が、それぞれのアロマとフレーバーをはちみつに与えています。

マイルドな味で濃い黄色をした多種花はちみつには幾分の結晶化が見られますが、柔らかく、簡単にスプーンですくい取って頂けます。